

中テレ・J A共済カップ第44回福島県U-12サッカー選手権大会

(兼 福島県復興祈念杯 U-12 サッカー交流大会)

県南地区予選 要項

- 1 主 旨 この大会は、少年たちがサッカーを通じて身体を鍛え、フェアプレーの精神を養い、正しく強くそして創造力豊かな人間の育成をめざすものである。
- 2 主 催 一般財団法人福島県サッカー協会、株式会社福島中央テレビ
- 3 共 催 読売新聞東京本社福島支局、福島民友新聞社
- 4 特別協賛 J A ・ J A 共済連福島
- 5 協 賛 モルテン
- 6 主 管 一般財団法人福島県サッカー協会4種委員会、県南サッカー協会4種委員会
- 7 日 程 2025年4月29日(祝火)、5月3日(土)・4日(土)
- 8 会 場 4月29日 熱海フットボールセンター2面、鳥見山公園多目的広場2面
5月 3日 いわせ運動広場2面
5月 4日 いわせ運動広場1面
- 9 参加資格 (1) 大会実施年度に一般財団法人福島県サッカー協会を通して公益財団法人日本サッカー協会(以下「JFA」という)第4種に登録した団体(チーム)であること。登録した団体からの複数チームの出場も可とする。
(2) 前項のチームに所属する小学6年生以下の選手であること。
(3) 参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得ていること。
(4) 参加チームは傷害保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入していること。
(5) 出場チームはエントリー期間内にエントリー表を提出し、エントリーを完了していること。
- 10 参 加 料 1チーム4,000円を大会日毎に本部へ支払うこと。
- 11 チーム構成 (1) チームの編成は、チーム役員8名以内、選手16名以内とする。
(2) チーム役員は、当該チームを掌握または指導する責任ある者であること。
(3) 複数チームエントリーする場合、監督・コーチは重複を認める。

(4) 大会当日、ベンチ入りするチーム役員の追加を2名まで認める。ただし、エントリー済みのチーム役員全員が不在での当日2名追加は認めない。(必ず1名はエントリー済みのチーム役員が当日ベンチに入ること)

12 審 判 (1) 審判は1人の主審と2人の副審と第4の審判が指名される。
(2) 審判は、帯同審判(4人制)とする。

13 表 彰 (1) 優 勝：カップ・メダル・表彰状を授与する。
準優勝：楯・メダル・表彰状を授与する。
※上位1～5位チームを、2025年5月31日～6月1日に福島空港公園で開催する福島県大会の出場権利を得る。
※上位6～10位チームを、2025年5月31日～6月1日に会津総合運動公園で開催する第14回福島県復興祈念杯 U-12 サッカー交流大会へ推薦する。

14 組み合わせ 2025年4月13日(日)、**あみだくじにて組合せ抽選を行う。**

15 大会形式 (1) 34チームのトーナメント戦によって実施する。【大会形式は昨年度を想定】
(2) 前年度実施した、福島県 U-11 交流サッカー大会県南地区予選の上位6チームをシード枠とする。

16 競技者の数および交代
(1) 1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
(2) 登録できる交代要員及び交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
(3) 試合開始前の1チームの競技者の最少人数は6人以上とし、試合中いずれかのチームが6人未満になった場合、試合は続けないものとし、当該チームを0-3の敗者とする。

17 競技規則 大会実施年度の J F A 制定「サッカー競技規則」および「8人制サッカー競技規則」に準ずる。

(8人制サッカー競技規則より抜粋)

第12条 競技者が退場を命じられた場合、その競技者のチームは競技のフィールドでプレーする競技者を補充することができる。

18 競技会規定 以下の項目については本大会の規則を定める。
(1) 試合時間は30分(15分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。
(2) 規定の競技時間内に勝敗が決しない場合は次のとおり。

P K方式により次回戦への進出チームを決定する。但し優勝決定戦は10分（5分ハーフ）の延長戦を行い、勝敗が決しない場合はP K方式により優勝チームを決定する。尚、延長戦に入る前のインターバルは5分、P K方式に入るまでのインターバルは1分とする。

- (3) ベンチに入ることができる人数は、チーム役員2名以上5名以内、選手16名以内とする。
- (4) テクニカルエリアを設置する。戦術的指示はテクニカルエリア内から、その都度1名のチーム役員が伝えることができる。
- (5) アディショナルタイムの表示については実施しない。
- (6) 暑熱下においては、前・後半の中程で飲水タイム、クーリングブレイクを採用する。飲水タイム、クーリングブレイクの有無を前・後半開始前に両チームへ通告する。
- (7) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許されるチーム役員の数は2名以内とする。
- (8) 本大会に参加する選手は、J F Aの発行した選手証を持参しなければならない。但し写真登録により顔の認識ができるものであること。不携帯の選手は、当該試合への出場を認めない。

※選手証とは、J F Aweb 登録システム「K I C K O F F」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやタブレット、パソコンの画面に表示したものを示す。

- (9) ピッチサイズは原則次のとおり推奨する：縦68m・横50m・ペナルティエリア12m・ゴールエリア4m・センターサークル半径7m
- (10) ゴール： ゴールの内のり縦2.15m、横5m
- (11) ユニフォームはエントリーにて登録したユニフォームを着用すること。
ただし、ユニフォーム（ゴールキーパーを含む）のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものとする。
また、フィールドおよびゴールキーパーの正・副2組のユニフォーム（計4組）の色は、明確に異なる色にする（同系色または類似色にしない）こととし、チームは試合会場に正・副2組のユニフォームを持参しなければならない。
選手番号については1～99を使用し0は認めない。
- (12) 大会期間中、異なる試合において警告を2回受けた者は次の1試合に出場できない。
- (13) 退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律委員会で決定する。
- (14) 中断及び対応について：試合中、降雨・雷の際は大会本部の判断で中断する。
再開方法は中断から20分様子を見て、再開が難しい場合、前半終了前はスコアに関係なく再試合とする。前半終了後は、同点の場合はトスにて次回戦進出チームを決定し、得点に差がある場合はそこで勝敗を決する。
- (15) ソックスにテープまたはその他の材質のものを外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

(16) アンダーシャツ・アンダーショーツ及びタイツの色はチーム内で同色を着用する場合はその色を認める。

- 19 懲 罰
- (1) (一財) 福島県サッカー協会理事会の決定に基づき、中テレ・JA 共済カップ第 44 回福島県 U-12 サッカー選手権大会に大会規律委員会を設置し、(一財) 福島県サッカー協会規律・裁定委員会は (公財) 日本サッカー協会の懲罰規定第 3 条 (以下、懲罰規定という) により委任された所管する懲罰権の一部を懲罰規定第 25 条に基づき当該大会規律委員会へ再委任する。
 - (2) 前項の再委任の範囲は、戒告、譴責及び 1 試合以下の出場停止処分の懲罰に限るものとする。
 - (3) 委員構成
委員長：(一財) 福島県サッカー協会 渡辺正一規律・裁定委員会委員長
委 員：伊藤勝紀

20 開 会 式 実施しない。

21 閉 会 式 5月4日(日)決勝戦終了後に実施する。
(表彰対象チームは参加すること)

22 監督会議 監督会議を、会場毎に第一試合開始 40 分前に本部前にて行う。(開催する全ての日) 各チーム代表者 1 名参加すること。

23 マッチコーディネーションミーティング

- (1) 1 回戦については、大会初日の監督会議時に行う。
(FP・GK (正副) ユニフォーム全てを持参すること)
- (2) 2 回戦以降については、各試合競技開始時刻の 40 分前に本部にて開催し、審判立ち合いに関しては本部で対応する。
- (3) メンバー表は 3 部を当該試合の 40 分前までに本部に提出すること。
- (4) 帯同審判の方は、大会本部へ 1 日 1 回審判証を提示し確認をすること。
※審判証とは、JFAweb 登録システム「KICKOFF」から出力した審判証を印刷したもの、またスマートフォンやタブレット、パソコンの画面に表示したものを示す。

23 参加申込 参加チームは、エントリー表 (Excel データ) に必要事項を入力し、4 月 12 日 (土) までに下記申込先へデータの送信を完了すること。

<申込先> 県南サッカー協会 4 種委員会 4 種委員長 伊藤 勝紀

Mail : kattsu0928@yahoo.co.jp

※メール表題を「【チーム名】中テレエントリー表の送付」として下さい。